

ぶらっと散策2 第5回探訪

《1》 探訪場所：茨木市

《2》 集合日時：2021(R03)11月04日(木)10時

《3》 集合場所：阪急電車京都線・南茨木駅改札口 “写真 a”

《4》 出席者：受講生:37名、CA:3名、ボランティアガイド:4名

《5》 概要 概ね20名の二班に別れ、午前中は東側の「東奈良遺跡」、「佐和良義神社」、「若園公園バラ園」を散策したあと、バスで阪急電車・茨木市駅に移動して昼食。
午後は、西側の「茨木神社」、「茨木城跡」、「梅林寺」などを散策した。終始好天に恵まれ、日向では少し汗ばむ陽気でした。

《6》 午前の散策詳細

- ① 「東奈良遺跡」 弥生時代には大きな集落があった。銅鐸製造工房の存在が確認されて、完全な銅鐸鋳型が発見されたことから全国的に有名になった。

(使用された完全な銅鐸鋳型の発見は全国唯一とのこと “写真 b”)

その他「謎の土坑群」、「小銅鐸出土地」、「銅鐸工房跡」などが発掘されているが、住宅地のなかに掲示板などが点在するにとどまり、残念ながら弥生時代を彷彿させるものではない。 “写真 c, d”

本日は閉館中であったが「文化財資料館」は歴史に興味のある方は訪問の価値あり(以前、個人的に見学の経験)。

- ② 「佐和良義神社」 延喜式内社であるが、創建年月は不明。祭神が加具土神で「銅」を表し、さわらも銅器を示しているので銅鐸工房との関連がうかがえる。 “写真 e”

《7》 午後の散策詳細

- ① 「茨木神社」 祭神：スサノオの尊で、現在は茨木市内の中心的神社。 “写真 f”
奥社として「天石門別」がある。 “写真 g”

- ② 「茨木城跡」 14～17世紀にかけて築城された城であるが、現在は痕跡が点在するにとどまる。茨木市ではもっとも古く創建された茨木小学校の正門に櫓門が復元されていて当時の面影を忍ばせる。 “写真 h”

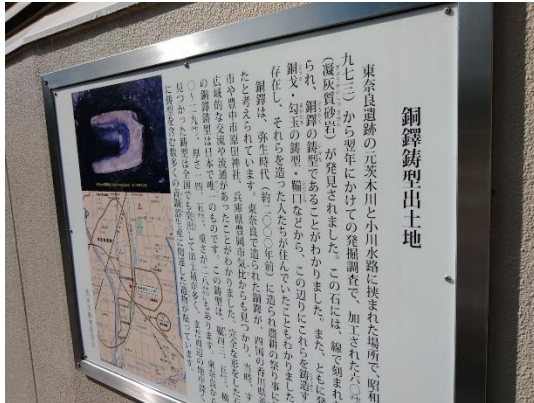
《8》 15時に阪急電車・茨木市駅で解散し、我が4班は駅前のガストでソフトクリームをなめて解散。

《9》 最後に、探訪を企画立案し、現地のボランティアガイドとの調整などに尽力いただいた3名のCAの方々に感謝いたします。

(ブログ担当：4班 i)



a: 南茨木駅でボランティアガイドからの説明



d: 東奈良遺跡の案内板



e: 佐和良義神社



b: 完全な形の銅鐸鑄型(レプリカ)



c: 東奈良遺跡の案内板



f: 茨木神社



g: 奥社



h: 茨木城櫓門(茨木小学校正門)